

## 平成25年12月定例会会議録（第4号）

平成25年12月9日 月曜日 午前10時00分開議

小 関 勝 助 議 長 大 道 寺 信 副議長

### 出 席 議 員 （16名）

1 番	赤 間 泰 広	議員	2 番	梅 津 善 之	議員
3 番	江 口 忠 博	議員	4 番	今 泉 春 江	議員
5 番	小 関 秀 一	議員	6 番	竹 田 博 一	議員
7 番	我 妻 昇	議員	8 番	大 道 寺 信	議員
9 番	蒲 生 光 男	議員	10 番	町 田 義 昭	議員
11 番	佐々木 謙 二	議員	12 番	安 部 隆	議員
13 番	渋 谷 佐 輔	議員	14 番	高 橋 孝 夫	議員
15 番	大 沼 久	議員	16 番	小 関 勝 助	議員

### 欠 席 議 員 （0名）

### 説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治	市 長	遠 藤 健 司	副 市 長
中 井 晃	総 務 課 長	齋 藤 環 樹	財 政 課 長
鈴 木 一 則	企 画 調 整 課 長	青 木 邦 彦	税 務 課 長
松 本 弘	市 民 課 長	梅 津 明 夫	健 康 課 長
松 木 幸 嗣	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
平 英 一	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
孫 田 邦 彦	農 林 課 長	梅 津 和 士	商 工 振 興 課 長
鈴 木 広 弥	観 光 振 興 課 長	宇 津 木 正 紀	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	渡 部 政 明	上 下 水 道 課 長
	管 理 課 長 兼		
遠 藤 敏 男	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポー ツ 課 長	高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長
児 玉 行 宏	監 査 委 員 事 務 局 長	鈴 木 隆 政	農 業 委 員 会 事 務 局 長

鈴木 智 消防 主 幹

### 事務局職員出席者

飯澤 常雄 議会事務局長  
鈴木 和夫 議事調査係長  
小林 克人 補 佐  
安達 洋司 主任 技 士

### 議事日程（第4号）

平成25年12月9日 月曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問  
8番 大道寺 信 議員  
2番 梅津 善之 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程（第4号）に同じ

## 開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を6日に引き続き行います。

それでは順次、ご指名いたします。

#### 大道寺 信議員の質問

○小関勝助議長 順位10番、議席番号8番、大道寺 信議員。

(8番大道寺 信議員登壇)

○8番 大道寺 信議員 おはようございます。

本定例会に当たり、通告してあります2点について質問をいたします。

なお、5日、6日の一般質問と重複する点がありますけれども、ご理解をいただきまして、ご答弁いただきたいと思っております。

まず、第1点目は、財政計画についてであります。

平成26年度から10年間の第5次総合計画についての案が議会に説明がありましたが、具体的

な施策を計画するに当たっては、財政計画が大きなかかわりを持つと考えます。そういった視点で、以下質問をいたします。

第1点目は、第5次総合計画における財政計画は従来の中期展望かについてであります。

総合計画の構成は、基本構想10年間、基本計画、前期5年、後期5年、実施計画3年間となっておりますが、その中で財政計画は、基本計画に位置づけ、5年間の計画として策定されるのかについてお聞きをいたします。

総合計画の基本計画案では、財政運営分野の項で、これまで示してきた財政の中期展望が個別計画との記載がされていますが、これまでの中期展望の延長線上での計画となると理解してよいのか。当然毎年見直すことは必要であると考えますが、少なくとも総合計画策定時には、財政運営の考え方も含め、財政の基本計画として示すべきではないかと考えますが、市長の見解をお聞きをいたします。

次に、2点目の、財政はよくなったと言われるが、依然として厳しいと見るべきではないかについてお聞きをいたします。

財政状況は、各種指標が過去からすれば大きく改善されており、よくなったことは事実であると考えます。この改善の要因は、小泉政権時の三位一体改革による交付税の大幅減から、民主党政権時における地方交付税増への政策転換、加えてここ数年にわたる経済対策や緊急雇用対策等交付金の実施等によるものが大きいと思われれます。当然、市債の減少や指定管理者制度活用による維持管理費減、退職者増による総人件費の減等、内部努力に成果があったものの、外部要因によるものが大きいと言えるのではないかと思います。実態としては、平成24年度決算における監査委員の意見書で指摘のとおり、自主財源比率が低い状況に変わりなく、財政の健全化は今後も避けられない課題であるということであると思っております。